



発行 膳所まちづくり委員会  
編集 情報発信部  
膳所市民ニュース編集班  
(膳所市民センター内 ☎077-524-2205)

## 特集 創立70周年を迎える粟津中学校

### 挑戦し続ける川辺校長が語る

3月12日、粟津中学校で平成最後の卒業式が行われ、170人余りの生徒が巣立っていきました。生徒の皆さんはどんな3年間を過ごされたのでしょうか。不安を抱えながらも希望と期待に胸を膨らませ、新たな一步を踏み出したことでしょう。

粟津中は、昭和24年(1949年)名勝「粟津

の晴嵐」で名高い地に誕生。本年度で創立70周年を迎えることになりました。粟津中の歩みを川辺勉校長へのインタビューを通してふりかえります。



### 校名は「粟津の晴嵐」から

粟津中の校名は、近江八景のひとつ「粟津の晴嵐《晴れた日、風に松並木の枝葉がゆれる



風景》」から名付けられ、校章も松葉(希望、強健、清新)をデザイン。「きらめく湖に窓ひらき」で始まる校歌に愛着を持つ方も多いでしょう。校舎は昭和36年(1961年)に火災により本館と南校舎が全焼し、現在の校舎に。当時の生徒は2,000人を超えており、現在の約4倍の生徒が在籍していました。

川辺さんが新任教師として赴任した1983年は、北大路中学校との分離もあり、生徒数は1,000人弱に。この頃、卒業式では生徒が作詞作曲したものが歌われ、「風がはこんだ季節」などの曲は、全国中学校コンクールで特選となるなど全国的にも有名な学校でした。

### 希望を胸に教師に しかし学校は荒れていた



深田校長先生を中心に校内暴力問題に取り組んでいた当時の先生方と

「子どもたちの元気な姿を見るのが楽しみ」「校長室で生徒とお弁当を食べるのも楽しみ」という川辺さん。膳所小、粟津中出身で初めて教壇に立ったのが粟津中という、粟津中と深いつながりのある人ですが、新任の数学教師として着任した1980年代は、校内暴力が全国的に問題となっていた頃で、当時の粟津中も例外ではありませんでした。

川辺さんは当時のことをふりかえり、「勉強が苦手な生徒たちとは補習や合宿勉強会をしたり、荒れていた生徒たちとは、一緒に桐生のキャンプ場に行き一晩中語り合った」といいます。また、当時の学校では、建物などが壊されることもありましたが、同僚の数学教師・桂田さんと二人が専属で修理を担当。何度直しても壊されるのですが、「直すのは好きだった」と笑って話されました。

### 教師が楽しくなければ、 学校は楽しくならない

現在の粟津中に通う生徒の父母にも、かつて川辺さんに習った人は多く、参観日でもよく声をかけられるそうですが、当時の川辺さんをよく知る人によれば、「サングラス・角刈り・無精ひげ」がトレードマークで、どこから見ても「コワイ人」で、生徒指導を担当し、よく生徒を叱っていた印象があるそうです。

しかし、数学教師としての当時の川辺さんは、「関数」のXとYの関係を新聞のテレビ欄を使って教えるなど工夫した授業をするだけでなく、記録的な豪雪の日で自習となった日には、生徒に雪合戦を提案したり、文化祭では女装したりと生徒だけではなく自らも学校生活を楽しんでいました。「教師が楽しくなければ学校が楽しくならない」からだそうです。



文化祭・学級劇での女性教師役



### 生徒から学ぶ教師に

3年前から粟津中の校長を務める川辺さんは、若い先生方に「教える教師以上に、生徒から学ぶ教師になって」と指導しています。教育の専門家としての知識とともに生徒からもたくさん学んで、成長してほしいと期待する川辺さんですが、新任時代からの信条としているのは「生徒たちによる学校改革」と笑顔で話されます。

校長室には「挑戦」という紙が貼られており、これからもたくさんの方に挑戦し続けたいと語られる言葉は、今も情熱にあふれています。



卒業式にて

### 70周年に期待を寄せて さらなる飛躍そして挑戦



70周年記念プレ事業

2019年度、川辺さんにとっては教師生活の最後となる定年を迎える年。今秋には70周年記念式典が予定されています。川辺さんは「生徒たちに70年をふりかえってもらい、これからをどう考えてどう生きるか考えるきっかけになれば」と、生徒たちが主体になった事業の開催を考えているそうです。

2月21日に生涯学習センターで開催された創立70周年記念プレ事業では、大ホールが生徒ら約500人で満員に。ここでは粟津中卒業生で、滋賀県出身では初となる江戸落語の落語家・三遊亭わん丈さんが、江戸落語の「牛ほめ」をはじめ、膳所小や粟津中時代の愉快的エピソードや思い出を披露。先生や生徒の落語体験もあり、会場は笑いに包まれていました。

川辺さんは「過去のいろんな人たちの努力で今があり、今をどう生きるかで粟津中の未来が変わっていく。記念事業を通じて、生徒一人ひとりがこれからをどう生きるか考える機会にしてほしい」と話され、生徒の皆さんの将来に期待を寄せました。



# 春だ!! 祭りだ!!

## 4月7日 膳所桜まつり

膳所観光協会では、恒例の膳所桜まつりを4月7日(日)に開催します。

会場となる膳所城跡公園では、午前10時から模擬店やフリーマーケットがオープン。野外ステージでは膳所公民館利用者団体を中心に野外コンサートなどを行うほか、桜の下では野点やお餅つきなど春らしい楽しく華やいだイベントがいっぱい。当日は滋賀県議会議員選挙の投票日です。投票を済ませてゆっくり桜まつりをお楽しみください。

また、今年が平成最後の年に当たることから、改元を記念して会場内で大津市の木「山桜」の記念植樹も行います。なお、雨天の場合は中止となりますのでご注意ください。

(その他関連事業としてまちあるきも開催。詳しくは3面に掲載)



## 5月3日(祝) 膳所五社まつり



若宮八幡神社

新しい元号初年となる5月3日(祝)には、膳所の氏神である五社(石坐・和田・膳所・篠津・若宮八幡)が揃って祭礼を行う「膳所五社まつり」が開催され、五社の神輿が膳所の町中を巡行します。

五社が祭礼を同日に行う「五社まつり」の歴史は、明治時代に遡ります。膳所にはかつて、湖面に映る天守で知られた本多六万石の膳所城がありましたが、明治維新で廃城。楼閣は壊され、城門は膳所神社や篠津神社等に移築されました。明治4年廃藩の前年、最後の藩主となった本多康稜公は新政府の命令により東京に住むことを余儀なくされました。

それから20年後の明治23年、膳所に戻られた本多公が「膳所の祭が見たい」と話されたことから、帰京前日の5月3日、本多公にお見せするため五社の神輿が膳所の城下を廻ったのが始まりとされています。かつての神輿渡御は担いでいましたが、戦後になってからはトラックの荷台に乗せて町中を巡り、その

後各神社区域内での渡御が行われています。

「膳所の五社まつりはまさしく膳所の伝統と文化の神髄」と語る膳所神社宮司・東郷恵三さん。「元号が変わり新しい時代を迎える。記憶に残る祭になれば」と盛り上がり期待を寄せ、息子さんの淳史さんと祭の準備に余念がありません。

和田神社宮司・嶽山修平さんは「昔は、舗装されていない道が多かったにも関わらず、約1トンの神輿を和田神社から山手の平尾町まで担いでいたそうです。昔の人はすごい」と感心されていました。

現在、各神社では今年の五社まつりの準備が着々と進められています。新元号最初の五社まつり、ふるさと膳所がひとつになるお祭をみんなで盛り上げていきましょう。



石坐神社



膳所神社



篠津神社



和田神社

## 膳所学区青少年育成大会

— 子どもたちの健全な育ちを支えるために —

2月23日、膳所市民センターで「膳所学区青少年育成大会」が開催され、約50人が参加しました。

子どもたちの健やかな成長と安全を図るため、膳所ブリングアップが主催して行われたもので、元膳所幼稚園園長で京都橋大学の一柳敦子さんが「手をつなぐ 子ども・おとな・地域の力」をテーマに講演されました。

一柳さんは、幼稚園での体験をもとに、学校や地域における子どもたちの現状を笑いを交えながら紹介。特に子どもは体験の中で、多くのことを感じ、考えていくため、様々な体験を子どもに提供することが大人の使命のひとつであると力説。学校教育では学べない

## みんながみんな みんながみんな みんながみんな 育て遊び感謝

「地域での学び」に期待を寄せました。

参加者の皆さんは、親としての関わり方を再認識し、子どもの健全な育ちを支えていくための方策を探りました。

膳所ブリングアップは、平成9年に設立以来、20年以上にわたり、子どもたちの安全と健やかな成長を見守る活動を続けています。



## 膳所学区町対抗スポーツ大会

— 誰でも簡単にできる「遊び」を満喫 —

1月27日、膳所小学校体育館で膳所学区町対抗スポーツ大会が開催され、19自治会が参加しました。

この日は、誰でも簡単にできる「小豆つまみ・ホールイン・ざる引き・ペットボトル釣り・パン食い」の5種目で競走。どれも簡単そうですが、意外と難しく、箸で小豆をつかみ、皿に移す小豆つかみは、寒くて手がかじかんでいて、なかなかつかめません。あちこちで悪戦苦闘する姿が見られ、会場は笑い声であふれていました。

4ブロックの優勝チームは、ルネ大津膳所、瓦ヶ浜町、木下町、北相模町でした。



## 春の幕開け 膳所ヨシ刈り・膳所火まつり

びわ湖のめぐみに感謝!

3月2日、なぎさ公園サンシャインビーチで「第28回膳所火まつり」が開催されました。湖岸に設置された100本のヨシたいまつが、

午後7時石鹿太鼓の合図で一斉に点火され、赤々と燃え上がる炎が湖面を鮮やかに照らしました。

ヨシたいまつには、2月23日に膳所まちづくり委員会や



自治会、膳所体振スポーツ少年団など約250人によって膳所城跡公園で刈り取られたヨシの一部が使われていました。

ヨシ原は、野鳥や魚の住処となるだけではなく、びわ湖の水質浄化にも役立っているほか、冬に刈り取ることで春から夏に新しいヨシが育つこともあり毎年実施されています。参加者は軍手と長靴姿で泥に足を取



られながらも約5mにもなるヨシを刈り取り、ヨシを集めて手際よくヨシたいまつを作っていました。

膳所火まつりでは、おもしろなべ膳鍋や甘酒がふるまわれたり、膳所幼稚園園児や膳所小学校1・2年生が描いた行灯が公園の園路に並べられたり

したほか、ステージでは和田神社奏和会による雅楽の演奏と優雅な神楽の舞が披露されるなど、会場を訪れた家族連れなど多くの皆さんを魅了していました。

# この冬も膳所は熱かった



## 新春マラソンに約千人参加



毎年、1月2日になぎさ公園で開催される「新春びわこ健康マラソン IN 大津なぎさ」には、今年も1,121人が参加。主に小学生が参加の3キロの部には497人、中学生以上の10キロには624人が参加しました。

新春早々にもかかわらず、会場には大勢の応援する人たちの姿も見られました。当日は、競技の運営や参加者へのぜんざいのサービスなどに膳所地域から81人の役員の皆さんが協力しました。

## 防災訓練で避難所体験

1月20日、膳所小学校体育館で膳所学区自主防災会主催の防災訓練が実施されました。

今回は避難所運営を実地体験しようと、体育館に避難所を設置されたことを前提にトイレの設置や避難者の名簿確認、避難者の役割分担などの訓練が行われました。

各町からの参加者173人をはじめ運営スタッフ60人は、実際に避難した場合を想定して、真剣な面持ちで訓練に取り組んでいました。



## ゼブからの年末年始活動報告

膳所ブリングアップ（ゼブ）では、年末年始に冬期愛のよびかけパトロールを実施しました。5日間でのべ157人が参加して、コンビニや学校園などで夜遅くまで出歩かないよう少年少女へよびかけを行いました。また1月5日には、恒例の書初めを実施。19自治会から54人が参加しました。

## 人推協・社協研修は沖島へ

1月31日、近江八幡市沖島で人権・生涯学習推進協議会と社会福祉協議会合同研修が行われ38人が参加しました。

あいにくの天候でしたが、島では西福寺茶谷住職から島の現状と離島振興法による島の活性化策や島の歴史、西福寺の由来などのお話を伺い、その後、島内を散策しました。

## これからの催し案内

### 春の膳所あるこ「膳所の花と史跡めぐり」

膳所桜まつりの関連行事として、膳所の桜の名所と史跡を巡るまちあるきイベントです。当日は膳所歴史ガイドクラブのメンバーが、膳所神社や茶臼山など桜の名所と城下町膳所の史跡を案内します。

▼期日／4月7日(日) 12時50分。膳所市民センター集合 13時出発で16時解散予定。

▼参加費／1,000円 ▼定員／15名

▼お申込み／3月31日までにハガキに住所・氏名・連絡先を記入して、〒520-0812 本丸町6-40 膳所市民センター内 春の膳所あるこ係まで



### 膳所歴史資料室春の企画展「スケッチ画と写真でふりかえる昭和・平成の膳所」

本年5月には平成が終わり、新しい時代が始まりますが、これを記念して春の企画展では、昭和から平成の膳所の歴史を中島宏さんのスケッチ画やなつかしい写真、なつかしの生活用品でふりかえます。

▼期間／5月12日(日)から5月25日(土)まで14日間(膳所市民センター2階)



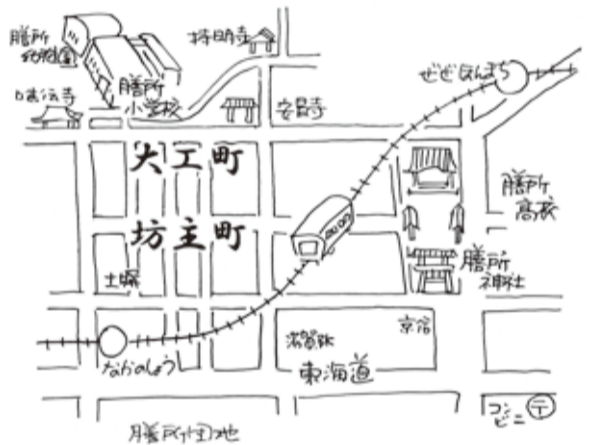
昭和30年代 義士祭

## 第4話

# 町名に歴史あり「坊主町と大工町」

膳所に住んでいながら、坊主町はお坊さんがたくさん住んでいたのだろうか、大工町は大工さんの町だろうか、そんなこと思っている人のなんと多いことか！（ポーっと……失礼しました。）坊主というのは、僧侶ではなく、江戸時代、主にお城でのお茶の接待や灯りの管理などをしてきた武士たちのことです。お茶の指導などは元々禅宗の僧侶がしていたことから武士でありながら頭を丸めていたともいわれています。大工というのはお城の修繕などを担当していた武士たちのことを意味しており、市役所や県庁に例えると建設部や土木部の職員の方たちみたいなものです。

坊主町や大工町は、膳所藩の行政を下支えする武士たちが住んでいた町でした。



## 第51回人権を考える大津市民のつどい

6月8日、人権を考える大津市民のつどい夏の集会在生涯学習センターで開催されます。内容など詳細は現在協議中です。

## 膳所学区各団体の総会日程

(時間等は各団体にお確かめください)

○膳所学区自治連合会 4月27日(土) 市民センター

○膳所学区体育振興会 4月29日(祝) 市民センター

○膳所ブリングアップ 5月11日(土) 市民センター

## 市民清掃 6月23日(日)

今年で47年目を迎える「琵琶湖市民清掃」は、6月23日(日)に実施されます。実施の有無は当日の午前6時から6時5分間にびわ湖放送のテレビ画面に字幕でお知らせが入りますのでお確かめください。なお中止の場合は7月7日(日)に延期されます。



## 交番連絡所は3月末で廃止

旧膳所交番廃止に伴い設置されていた交番連絡所は平成30年度で廃止になります。今後は膳所市民センターを警察官立寄り所として、これまで同様犯罪や交通事故防止に努めるとのことです。

## コラム 平成の終わりに…

30年前の昭和63年、私は昭和最後の卒業生として小学校を卒業した。あれから30年、いよいよ平成が終わりを告げる。私にとっての平成は変化の時代。大学入学とともに地元を離れ、その後仕事の関係で国内・国外の色々な都市に住み、約10年前膳所にやってきた。どの町での生活も素晴らしい思い出いっぱいだが、今ではこの膳所の町での生活をすっかり気に入っている。豊かな自然・歴史を身近に感じ、そこに住む温かい人達が生活に潤いを与えてくれて心地よい。

ふと湖岸に出て空を見上げてみた。たくさんの飛行機が東から西へと向かう。JALのパイロットに聞けば、大津には航空無線標識があり、羽田を離陸して西に向かう飛行機は、まず大津上空を目指すそうである。空港はないが、大津という地名を知らないパイロットはいないらしい。膳所上空を飛び交う多くの飛行機を眺め、過去に住んだ遠くの町の風景を思い浮かべながら、広い世界の中で、今膳所に住んでいる奇跡に感謝した。(後藤 祐紀)

# 1年生の黄帽 なくなるの？



小学1年生が入学した日、初めて入った教室の席では新入生を黄色い帽子が迎えてくれます。ちょっと大きめの黄色い帽子をかぶり、ランドセルで背中が見えないような1年生が、お兄さんやお姉さんたちの後をついて歩いていく姿に、「がんばれよ」とおもわず声をかけたくになります。そんな1年生の黄色い帽子が、今年からなくなる可能性があります。

長い間無償で配られていた黄色い帽子の費用は、滋賀県市町村交通災害共済の基金から支出されてきました。しかし交通災害共済加入募集の廃止に伴い、黄色い帽子の費用のめどが立たなくなったからです。そこで、膳所小PTAでは、有志によって組織された「おやじ倶楽部」を中心に黄色い帽子の無償配布継続のための活動に取り組み、夏祭りでの綿菓子の販売などを通じて資金を集めてきました。また帽子メーカーとも価格交渉を重ねてこられた結果、今年度は膳所小PTAから無償で配られることになりました。

会長の後藤祐紀さんは「黄帽は交通安全の面でも大切。われわれが努力することで膳所学区の方や卒業生の方からも、継続して黄帽の無償配布にご協力が得られればと願っています」と話し、こうした取り組みを継続させるための支援を求めています。

# 膳所合唱団65年

昭和・平成から次代へ歌い継ぐ

膳所合唱団は昭和29年12月、当時滋賀大教授の岡田二郎さんを迎え設立。以来65年、女声合唱団としては大津市の草分け的存在とも言えます。現在の会員数は14名ですが、ピーク時には40名近くになったことも。昭和30年膳所学区敬老会への出演を皮切りに、大津市文化祭、びわこ国体後夜祭、びわ湖放送開局記念番組、生涯学習センター開所記念演奏会など昭和から平成の様々な舞台で活躍してこられました。代表の横田節子さんは「音楽を通じて多くの方々とお知り合いになりました。合唱団は私にとって元気の素、今はシルバー合唱団ですが（笑）歌はストレス発散にもなるし、難しいとは思わず、どなたでもご参加いただけたらと思います」。膳所合唱団は膳所公民館で毎週月曜日午後1時から2時半まで練習。詳しくは横田さん（TEL523-2326）まで。



1969年設立15周年の頃 右から3人目が設立時の代表木村幾代子さん。左から2人目が現代表の横田節子さん

されたと言われておる。古墳があるのと同じように、古代から膳所には大きな町があったということじゃろ。神社の位置は江戸時代になって変わったところもあるが、お寺も神社も、多くがかつての東海道に沿って建てられていることからすると、神社やお寺の位置は膳所城を守る上で大切な場所ということにもなるな。

膳所神社はもともと生涯学習センターにあったの？

生涯学習センターから膳所団地にかけてのあたりに鎮座されていたのが膳所城築城の時に今の場所に移されたんじゃない。ちなみに明治時代になるまでは膳所神社は膳所大明神と呼ばれておったんじゃないぞ。

# なんでにゃん




ぜげにゃんの疑問に





膳兵衛が答えます


ぜげにゃん（膳所小のキャラクター。膳所のことは何でも知りたい性格。たぶん女の子）からの膳所に関する疑問難問に、膳兵衛さん（年齢不詳。膳所の歴史だけは詳しいが、スマホは使えない）が答えます。

\*\*\*

 この前、本多神社を散歩してたら、古墳って書いてあったよ。ホント？ 誰のお墓なの。今から何年前？


 よく気づいたのう。本多神社は江戸時代に膳所藩のお殿様が住む屋敷と立派なお庭があったところで、その庭の石としても古墳が利用されておったんじゃない。今からおおよそ1500年ぐらい前の丸い形の古墳だろうと言われておる。誰のお墓かはわからんが、あのあたりに住んでいた豪族、つまり権力もお金も持っていた膳所のリーダーだったかもしれんな。


 膳所にはお地蔵様が多いね。どうして？いつから？ いったい何体あるの？ 膳兵衛さん数えたことあるの？

 さきほどの本多神社にも古墳の石を使ったお地蔵様がおられるぞ。石棺仏というのじゃが、滋賀県には3例しかない貴重なものじゃ。さて、質問についてじゃが、道端にお地蔵様が祀られている祠（ほこら一神仏の小さな家）は膳兵衛が数えたところでは膳所

に約80カ所ある。膳所には約60町内あるから各町内に1カ所以上ということじゃ。祠には数体祀られているものもあるし、さらには膳所城跡公園の石鹿地蔵とか北向き地蔵のようにたくさんのお地蔵様が集まっておられる場所もある。それらを足すと400体以上にはなるな。しかし、お地蔵様と言うが、よく見るとその多くは阿弥陀様なんじゃ。阿弥陀様とお地蔵様では同じ仏様でも全然違う。しかも、ひとつの石に2体とか4体彫られたものもある。それに、お地蔵様を祀ってある祠は、膳所の川沿いに多くある気がするのだが、なぜだと思っ？ぜげにゃんも一度考えてみてくれ。



 膳所の湖岸近くには神社も多いね。いつからあるの？

 膳所にある神社の多くが、今から1300年前の大津京の時代前後に創建

# 漢字クロスワードクイズ (地酒とワインの加藤酒店 協賛)

マス目に入るのは全部漢字です。㊦のマス目に当てはまる漢字2文字を組み合わせてできる**1文字の漢字**をお答えください。正解者の中から抽選で3名様に加藤酒店よりソムリエ加藤さん厳選のお酒をプレゼント。応募方法／ハガキに答えと住所・氏名・面白かった記事や感想をご記入の上、「〒520-0812 木下町7-6 寺田智次」まで。切/4月15日消印有効。正解された当選者の発表は商品の発送をもってかえさせていただきます。なお前回のクイズの正解は「春」でした。

《たてのカギ》

- ①日本国の古い呼び名
- ③徳川家譜代の家臣で、膳所藩の初代藩主
- ⑥〇〇バスの旅

《よこのカギ》

- ①信楽山地を水源とし、南郷洗堰付近で瀬田川と合流する河川
- ②本殿は重要文化財、大きなイチョウで有名な木下町の神社
- ④真実〇〇
- ⑤山科駅から近江塩津駅に至るJR西日本の幹線

《ヒント》  
酒は〇からのめぐみものという人もいます。

① ?	③	川
②		
	④ ?	⑥
⑤		線